

令和7年度母子保健指導者養成研修
～妊産婦のメンタルヘルスに関する研修～

流産・死産を経験された方への支援

福岡県福祉労働部子育て支援課

参事補佐兼母子保健係長 若松 倫子

内容

1. 福岡県の概要
2. 事業開始に係る背景
3. 取組内容と実績
4. 今後の展開

1. 福岡県の概要

市町村数	60	
指定都市・中核市	福岡市、北九州市、久留米市	
人口*1	5,135,214人	
	福岡県	全国
高齢化率*1	28.1%	28.7%
死亡率*2(人口千対)	12.4	13.0
出生率*2(人口千対)	6.8	6.0
合計特殊出生率*2	1.26	1.20
新生児死亡率*2 (出産千対)	0.7	0.8
死産率*2(出産千対)	22.7	20.9



*1: 令和2年度国勢調査

*2: 令和5年度人口動態統計

2. 事業開始の背景

(国の動向)

- ・「不妊症・不育症支援ネットワーク事業」
(令和3年度 不妊専門相談センター事業の加算)
- ・令和3年5月 母子保健課長通知
「流産や死産を経験した女性等への心理社会的支援等について」

- ・「不妊症・不育症患者等の支援のためのネットワーク整備」
(令和4年度 性と健康の相談センター事業の加算)

※流産・死産等を経験した方への心理社会支援やピア・サポート活動等への支援も含まれる
ものであり、不妊症・不育症患者の支援と区別して実施することも可能

- ・令和5年3月「成育医療等基本方針の改定」

※各都道府県において、成育過程にある者に対する医療、保健、福祉等の関係者は、市町村等と連携を図り、妊娠・出産・産後のケアの連続性の担保、産後ケア事業や妊産婦健康診査の広域的な調整、流産・死産を経験した方や医療的ケア児等に対する支援等を推進することが期待される

2. 事業開始の背景

(福岡県の実施)

- ・「不妊症・不育症治療等及び相談支援研修」(令和3年度～)
 - ※テーマに「グリーフケア」を含める(以降も年1回開催継続)
- ・「不妊・不育と性の相談マニュアル」の作成(令和5年度)
 - ※社会資源として県内で活動している自助グループ情報を掲載

グリーフを抱える方々の孤立を防ぐために・・・

▶ 支援を求めてよいこと、相談窓口があることを知らせる

- ・「流産・死産等を経験した方へ」のリーフレットの作成(令和5年度)

※相談窓口・自助グループ一覧、グリーフケアプランガイドBOOK・カード

▶ 支援者のネットワーク作りとピア・サポートへの支援

- ・「不妊・不育症患者等ネットワーク事業」(令和6年度～)

3. 取組内容

「不妊・不育と性の相談センター事業」

(1) 不妊・不育（流産・死産を含む）に関する相談支援

「不妊症・不育症患者等支援ネットワーク事業」

(2) 自助グループ等と連携した研修会の開催

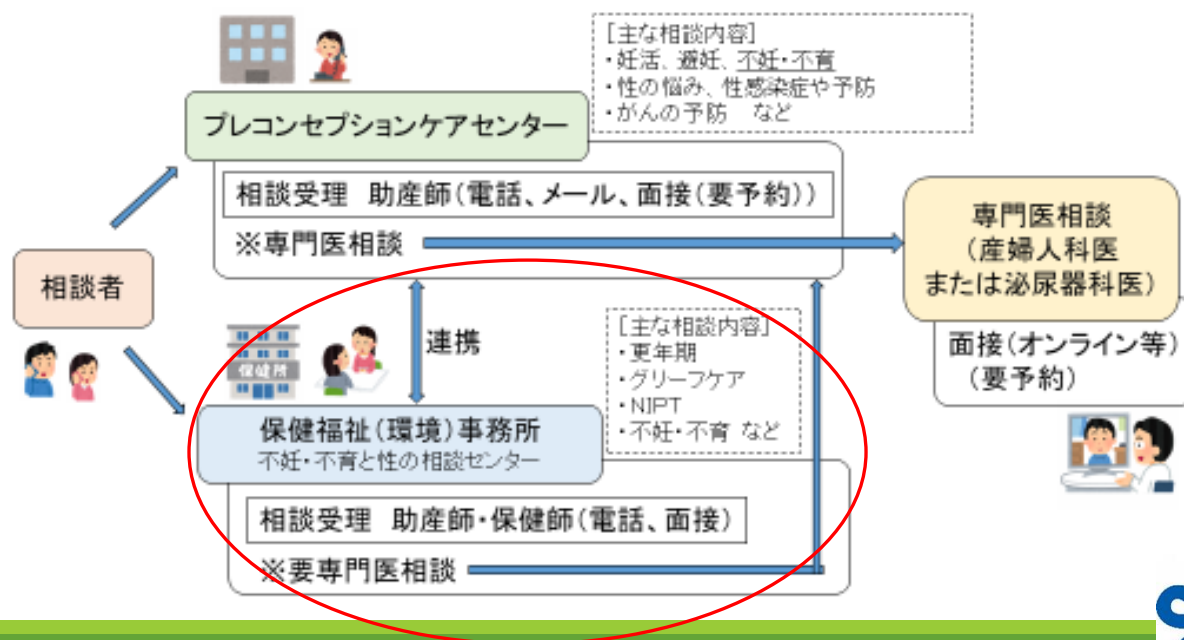
(3) 当事者及び支援関係機関等への情報提供

3. 取組内容

(1) 不妊・不育(流産・死産を含む)に関する相談支援

不妊・不育と性の相談センター

- ・県内の9保健所で、保健師・助産師等が電話または面接等で相談に対応。
- ・相談内容や希望に応じ、福岡県プレコンセプションケアセンターの専門医相談や、流産・死産等の自助グループを紹介。



3. 取組内容

(2) 研修会・相談会等の開催

目的： 流産・死産で悲嘆を抱えた方の孤立を防ぐ。

内容： 県内9保健所において、自助グループ等と連携し、年1回程度、研修会・相談会等を実施。

3. 取組内容

(2) 研修会・相談会等の開催

参加者	保健所管内市町村母子保健担当者、 管内医療機関（産婦人科・精神科・助産所等）
実施内容 テーマ (一部抜粋)	講演、グループワーク、協議など <ul style="list-style-type: none">・「産後ケアについて考える ～流産・死産等を経験された方々の孤立を防ぐために～」・「流産・死産・新生児死等を経験された方を支援する中で 見えてきたこと ～サポート団体の視点から～」・「当事者の葛藤の実際と活動を通して見えてきた支援の課題について」・「流産・死産等を経験された方への地域支援体制について」
講師	<ul style="list-style-type: none">・自助グループ代表者・産前産後サポーター協会 認定サポーター

3. 取組内容

(2) 研修会・相談会等の開催

【参加者の反応】

▶ 医療機関等

- ・グリーンケアを知らなかったが、当事者の話を聞き今後の対応の参考になった。
- ・顔の見える連携が大事。支援者と顔を合わせる機会があってよかった。

▶ 市町村

- ・当事者が困っていることを学ぶことができ、当事者への声掛けや支援の際に気を付けることの参考になった。
- ・他機関の支援者と顔を合わせる機会が少ないため、今後も同じような機会が欲しい。
- ・庁内連携（住民課と母子保健担当課など）を進めたいと感じた。

【保健所から】

- ・当事者の気持ちの理解につながったため、今後の相談支援に活かしたい。
- ・支援者側の知識が必要であり、周知啓発や情報提供といった保健所の役割の重要性を再認識した。
- ・今後も事業を活用し、自助グループと地域の関係者との連携を図りたい。

3. 取組内容

(3) 当事者および関係機関等への情報提供

① 相談窓口・自助グループ一覧リーフレット



どこに相談したらいいかわからない
関心なことを探してみようか？

上記のように悩まれている方が多いとお声を受け、令和5年9月から
福岡県HPにて、ご相談窓口の一覧を掲載しております。HPはこちら▶

自助グループってなんだろう？

天使ママ・パパの力になりたいと、ボランティアで活動している団体です。
当事者自らや産前産後サポーターの方が各地で活動されています。

★「お葬式の開催」など、リアルタイムでの活動情報はこちらからご覧いただけます。(Instagramにて)

▼県内で活動している自助グループ (※令和6年4月時点での掲載です。)

自助グループ名	活動内容	連絡先	ホームページSNSなど
1 天使を想う会『望-nozomi-』 	・3ヶ月に1回程度、対面での お話を開催 ・イベント企画と開催 ・メッセージ受付 ・個別談話	tenshimama.nozomi@gmail.com	【HP】 https://ameblo.jp/tenshimama-nozomi/ 【Instagram】 Tenshimama.nozomi.c.uokawa 【Twitter】 @nozomi59529597 【Facebook】 Nozomi Tenshimama
2 にじいろのはね 	・物販販売 ・個別交換ノート ・天使のお誕生日お祝い ・ピンク＆ブルーリボンの啓発 活動、イベント	m1260h.m@gmail.com	【Instagram】 @nijiironohane.m
3 星の会	・定例会実施 春の会：4月第4日曜日 夏の会：8月第1日曜日 秋の会：10月第4日曜日 ・通信誌星の会を発行。 ・子供を亡くされた方とご家族 であれば誰でも参加でき ます。安心して語り、聞くこと ができる集いです。	takeday@kbc.biglobe.ne.jp 090-4481-1562 (代表：武田)	http://hosinotudoi.web.fc2.com/index.html

3. 取組内容

(3) 当事者および関係機関等への情報提供

② グリーフケアプランガイドBOOK

～流産・死産・新生児死などで大切な赤ちゃんを亡くした
先輩天使ママ・パパ*の想いから作成された～

グリーフケアプラン ガイドBOOK

*「天使ママ」「天使パパ」とは・・・

流産・死産・新生児死などを経験した母親、父親の尊称。
SNS等で、経験者同士がつながる言葉にもなっています。



福岡県福祉労働部子育て支援課
☎092-643-3307
✉boshihoken@pref.fukuoka.lg.jp

突然の出来事。－「どうして私が・・・？」

この「グリーフケアプラン ガイドBOOK」を読まれている方は、
皆さんそう感じたのではないのでしょうか。

このガイドBOOKはそんな思いを実際に経験した、
たくさんの天使ママ・パパのお声を元に
～ひとりじゃないよ～の想いを込めて作成しています。



－天使ママ・パパの 悲しみ直後のお声－

- ・ 妊娠さんを見るのが辛い、短ましく感じてしまう
- ・ 友人の妊娠報告がきけない
- ・ 友人に死産や流産の話をなんとなく伝えたらよいかわからない
- ・ 兄弟姉妹の保育園・幼稚園で、他の保護者に会うのが辛い

- ・ 何もないのに涙がとまらない
- ・ 泣いてばかりで何もする気が起きない
- ・ 仕事復帰が辛い

周りからの言葉に傷つく
話してもわかってもらえないと感じて
一人で抱え込んでしまう
外に出るのが辛い

- ・ 自分で自分の感情がコントロールできない
- ・ 一日の中でもいい時と悪い時がある
- ・ 周りが心配するから無理をして笑ってしまう

- ・ 次の子を妊娠したいけどフラッシュバックする
- ・ 夫婦での悲しみの表現に差を感じる
- ・ 夫として「妻を支えなければ」と悲しみを表に出せない

このような感情は、人として誰もが感じ、通っていく過程です。
寄せては返す波のように、様々な感情が行ったり来たりしながら、
ゆっくり、少しずつ心が回復していきます。ご自身を責めすぎないように
どんな感情の自分も受け入れて、○だと認めてあげることが大切です。



3. 取組内容

(3) 当事者および関係機関等への情報提供

③ グリーフケアプランカード

～大切な赤ちゃんとお別れまでに希望されること～ 「グリーフケアプラン」カード

告知～出産時

- ☐立ち合い出産をしたい
- ☐好きな音楽を流して気を紛らわせてほしい
- ☐今は考えられないので、当日の希望を聞いてほしい
- ☐その他（ ）
- ☐看護師、助産師にそばにいてほしい
- ☐あまり部屋に入ってきてほしくない
- ☐会計までの時間、待合室など配慮してほしい

出産後

- 作成、準備したいこと
- ☐手型・足型を取りたい
- ☐赤ちゃんに名前をつけたい、「命名書」の作成をしたい
- ☐天使サイズの産着を自分で準備したい（※自給グループなどから購入もできます。）

写真、ビデオ撮影

- ☐お顔が見られなくても、手足の写真を撮影して残したい
- ☐赤ちゃんと一緒に撮りたい
- ☐家族と一緒に撮りたい
- ☐写真、ビデオを撮ることは希望しない

持ち帰りたいもの

- ☐髪の毛、爪
- ☐へその緒
- ☐エコー写真
- ☐心拍モニターの記録
- ☐ネームバンド

その他希望すること

- ☐母乳をあげたい、おっぱいを咥えさせたい
- ☐おむつを替えてあげたい

お見送りや手続きについて

作成、準備したいこと

- ☐棺を手作りしたい
- ☐産着、肌着を準備したい
- ☐天使サイズの骨壺を準備したい
- ☐その他（ ）

棺と一緒に入れたいもの

- ☐お手紙
- ☐お花
- ☐ミルク
- ☐おもちゃ（燃える素材のもの）
- ☐お菓子
- ☐家族写真
- ☐ご家族やご兄弟姉妹の制作物（折紙など）
- ☐準備していた産着、肌着、帽子、おくるみ
- ☐その他（ ）

手続きとお見送りについて

- ☐手続きは病院にお願いをして、お別れまでの時間を大切に過ごしたい
- ☐火葬に立ち会いたい（外出許可が欲しい）
- ☐退院して自宅で過ごし、自分たちで火葬したい
- ☐手続きや火葬は、全て病院にお願いしたい
- ☐その他（ ）

退院後

- ☐専門的なカウンセリングを受けたい
- ☐グリーフケアを受けたい
- ☐地域の保健師、助産師に繋いでほしい
- ☐家族、両親、周囲にどう伝えたら良いか分からない
- ☐今はまだ誰にも会いたくない
- ☐その他（ ）
- ☐産後ケア（心と体のケア）を受けたい
- ☐同じ経験をした人と繋がりたい

仕事関係

- ☐職場、上司にどう伝えたら良いか分からない
- ☐仕事復帰の時期について、相談できる場所を知りたい
- ☐気を使って欲しくないなので、職場に伝える予定はない
- ☐その他（ ）

4. 今後の展開

- 支援ネットワーク構築に向けた取組の継続
 - ・ 流産・死産等を経験された方に関する理解の促進。
 - ・ 医療機関等を含めた支援関係者の顔の見える連携の促進。
- グリーフケアプランカードの活用
 - ・ 汎用性の高いカードの作成
 - ・ 医療機関等での活用促進
- 相談窓口等の周知
 - ・ 不妊・不育と性の相談センターの相談窓口の周知
 - ・ 自助グループ等の活動情報の提供

ご清聴いただき
ありがとうございました！